

RGBとCMYK

JJ1SXA/池

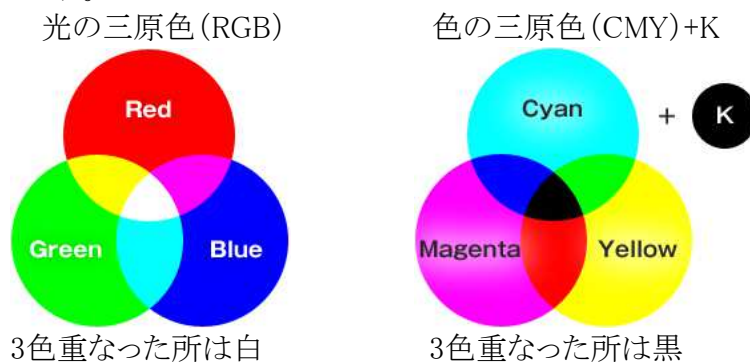
RGBとCMYKは、どちらも色の表現法の一つで、簡単に言うとRGBはディスプレイ用、CMYKは印刷用の表現法ということでしょうか。

RGBは、それぞれレッド(Red)、グリーン(Green)、ブルー(Blue)の頭文字をとったもので、この3色は「光の三原色」と呼ばれており、ブラウン管、液晶モニター等で色を表現する為の手法だ。

CMYK(またはCMYKカラーモデル)は、シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4成分によって色を表す色の表現法の一つで、シアン(Cyan)、マゼンタ(Magenta)、イエロー(Yellow)と、キープレート(Key plate)から、頭文字1字を取ったものである。

CMYKの「K」がブラック(BLACK)なら頭文字は「B」で、CMYBのはずだが、CMYKと表記される、これは、「K」は、本来ブラックではなくキープレート(画像の輪郭などを表現するために用いられた印刷版)の頭文字からとったものです、ちなみに、家庭用プリンターなどの黒インクは「K」ではなく「BK」表記が一般的です。

また、全ての色を混ぜると白になるRGBとは対照的に、CMYKでは全ての色を混ぜると黒になります。



ちなみに、私のプリンター(エプソン)のカラーインクは、ブラック、シアン、マゼンタ、イエロー、ライトシアン、ライトマゼンタの6色だ。

私のホームページの色指定は256色だが、パソコンに触り始めた頃は、256が2の8乗だということくらいしか分かっていなく、何故256色になるのかと結構長期間疑問のままでした、訳もわからず、htmlでフォントの色を指定するのに、``などを書いていましたが、RGBのRがff、RGBのGが00、RGBのBが00くらいはわかっていた、一番薄い色の00から一番濃い色のffまでの組み合わせで、色が指定されるのだ、0からfまでの16進数が2つ並べられている、 $16 \times 16 = 256$ だと理解するまでに時間を要したのだ、今でも大したことにはできないが、ずぶの素人では仕方なかった。

ある数字、例えば256は、2の何乗か?は、対数の計算で求められる、 $\log_2 256$ から8という答えが導かれる、私の高校時代の数学は、対数はもとより、微分、積分があり、他に幾何もあった、だが授業をさぼることが多く、100%理解できてはいない、数学は嫌いではなかったが、2年生の後半になると、教室に居るより、早弁の後は友とドンデン山に登り、煙草を吸いながらの読書だった、それでも東大現役合格の同級生と仲良くしていた hi